

平成22年度

「建築系高校生設計製図講習会」夏期講習・「設計製図指導者研修会」夏期研修 報告

製図分科会 主査 吉城 守
(埼玉県立春日部工業高等学校)開催日：平成22年 7月10日(土)・11日(日)
場 所：軽井沢周辺、南ヶ丘倶楽部(中央工学校研修所)
内 容：第1日目

- ・開講式
- ・フィールドワーク1
 - 大賀ホール(鹿島デザイン)
 - ギャラリー桜の木(中村拓志)
 - 軽井沢の山荘(吉村順三)
 - 日本聖公会ショー記念礼拝堂(A.C.ショー)
 - 軽井沢クリークガーデン(山本良介)
 - 軽井沢聖パウロカトリック教会(アントニン・レーモンド)
 - 室生犀星記念館
 - 万平ホテル(久米権九郎)
 - 石の教会・内村鑑三記念堂(ケンドリック・B・ケロッグ)
 - ハルニレテラス(東利恵)
 - ()内は設計者
- ・第3回建築系高校生対象コンペティション
「工芸作家の軽井沢生活」概要説明及び歴代入賞作品見学



第2日目

- ・施設見学及びスケッチ
 - 千ヶ滝(能舞台)、南暁(茶苑)、三五荘
- ・閉講式
- ・フィールドワーク2
 - 軽井沢新スタジオ(アントニン・レーモンド)
 - 自由見学



参加者：生徒：1都4県より17名、教員：1都4県より11名参加

製図分科会では昨年度に引き続き、フィールドワークの手法を体験すると共に、他校生徒との交流を通して設計イメージの深化を図ることを目的に、生徒を対象とした「設計製図講習会」を実施いたしました。また、フィールドワーク(現地調査)手法を研修し、他校職員との交流を通して、指導実践の情報交換を図ることを目的に、教員を対象とした「設計指導者研修会」も同時に実施しました。先生方にも生徒と同じ日程で活動・研修していただきました。

当日、自転車(レンタサイクル)での移動となる日程だったので、梅雨で天候を大変心配していましたが、初日は、久しぶりの晴天となり、フィールドワーク1が全て予定通りに進みました。また、2日目は、若干天候が危ぶまれましたが、施設見学・スケッチ、フィールドワーク2が予定通りに実施でき、特にフィールドワーク2の「軽井沢新スタジオ」見学では、アントニン・レーモンドの弟子である北澤興一先生(株式会社北澤建築設計事務所 代表取締役)から建物についての解説や当時の様子、裏話等、貴重なお話をしていただきました。参加者みなさん、大変感動していました。

この研修会で知り合った他校の生徒達と学年を問わずに交流し、意見を交わした経験は今後の活動に多いに生かされることと思います。2日間という短い日程でしたが、大変有意義な講習会並びに研修会になったと思います。この講習会・研修会が来年度も開催できるよう準備して行きたいと思っています。また是非多くの生徒、先生方に参加していただければと思っています。

参加生徒感想（一部抜粋）

- ・とても楽しい講習会だった。2回目の参加だけれども、去年見た建物と同じ建物を見ても受ける印象が少し変わっていて、何か不思議な感じだった。建物自体はそんなに大きく変わっていないので、自分が変わってしまったと少し寂しい気持ちになった。去年よりも成長できていれば良いなと思った。なんか建築ってすごいなと、漠然ですが感じた。自分も将来そういった建物を造ってあげたら良いと思った。（3年男子）



- ・軽井沢は、大きくて面白い形の建造物が多くあり自然があり、街全体が一つの芸術作品みたいだと2日間を通して思った。特に「ギャラリー桜の木」や「石の教会」などは、有名な建築家が設計した建物で、見学していてとても楽しかった。「南暁」の小間は最小の茶室で、にじり口や貴人口などの扉にはそれぞれ意味があり、にじり口の思想は日本人の美意識の象徴だと思った。他にも軽井沢には、山荘や三五荘など素晴らしい建築物があるので、自分も将来軽井沢に建物を建てても恥ずかしくないような建物を設計してみたいと思った。（1年男子）

- ・軽井沢のイメージは、自然豊かで別荘が沢山あるという感じでしたが、駅に着いたらアウトレットがあり、イメージのギャップがすごかったです。でも、フィールドワークが始まり、自転車に乗って色々な所に行くたびに、軽井沢の自然を味わうことができ、どんどん軽井沢という街が好きになって行きました。私は去年、中央工学校主催の「写真に親しむ軽井沢の家」というコンペに初めて挑戦しました。コンペの概要説明を聞いて、自分の足りなかった点を知れたし、過去の作品を見て刺激を受けました。朝6時30分から約1時間の散歩をして、自転車では一瞬しか見ることのできない建物を自分のペースでじっくり見ることができたので、眠かったけど良い思い出になったと思います。この2日間で沢山のことを学びました。その学んだことを生かして今後の自由設計やコンペなどに取り組んでいきたいです。講習会に参加できて良かったです。（3年女子）



- ・初めての合宿ということで、少し不安もあったのですが、とても楽しく学ぶことができました。フィールドワークでは、自然を楽しみながら色々な建物を見学することができ、楽しかったです。こんなにすごい建物を見られて良かったです。石の教会では、坂道を頑張ったかがありました。私がフィールドワークで一番気に入った建築物は、「軽井沢クリークガーデン」です。自然と共存している中で結婚式が挙げられるなんて、良いなと思いました。それから皆にちゃんと着いていけるか不安でしたが、先生方や先輩が優しく丁寧に教えてくださったので良く分かったし、楽しんで参加できました。この講習会に参加して良かったです。（1年女子）

- ・1泊2日でこの講習会に参加できてすごく楽しかったです。普段見られないような軽井沢らしい建物を沢山見られました。外から見た感じと内から見た感じが違っていたりして、面白かったです。石の教会は、殆んど全てが石でできていて、「どうなっているのだろう？」と思いました。地元には無い建物が見られたので良かったです。私はいま、コンペと課題研究で家を設計しています。色々考えてもやっぱり四角のありきたりな家になってしまいます。でも中央工学校主催のコンペ作品を沢山見ることができて、とても勉強になったし、良い参考にもなりました。自分と同じ年または年下の人が考えたものとは思えなくて、すごく良い刺激を受けました。今回の講習会で学んだことが沢山あるので、これを活かし、大学に進学しても参考にしていきたいです。（3年女子）

今回見学して気に入った建築物ベスト3（参加生徒アンケートより）
フィールドワーク2を除く

第1位

- ・「軽井沢クリークガーデン」
- ・「三五荘」

第2位

- ・「ギャラリー桜の木」

第3位

- ・「石の教会・内村鑑三記念堂」
- ・「南暁（茶苑）」



教員感想（一部抜粋）

・普段なかなか来ることのできない軽井沢で多くの建築物に触れることができ、単純に楽しかった。机上での研修会ではなく、レンタサイクルでの研修という形も得るものが多くて良かった。コンペ説明では、もう少し具体的な話（優秀作品についてのポイントなど）を聞けると、今後に向けた参考になったのではと感じた。多くのことを学ぶ良い機会でした。ありがとうございました。

・今回の研修に参加し、他県の先生方のコンペに対する取り組みや授業内容などの情報を聞くことができ、大変良い刺激となりました。各校の先生方の積極的な指導、取り組みも今後参考にしながら、生徒へ還元していきたいと思えます。研修会では、普段では見ることのできない建築物を多く見学でき、改めて建築の奥深さを感じました。県外に出て、こういった機会を多く設けることが、生徒にも刺激を与えられると思えます。



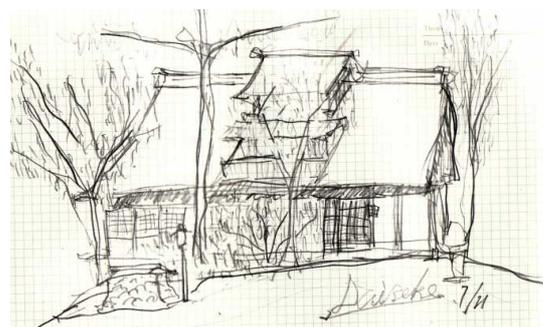
・スケジュールが過密で、日程的にも体力的にも大変でしたが、とても楽しかったです。特にフィールドワークはタイトなスケジュールでしたが、そのおかげで沢山の建築物が見られたので良かったです。また、三畳台目の茶室や三五荘といった、普段ではなかなか見られない空間を、実際に体験できて嬉しかったです。そして、違う地域・高校で同じ建築を教える先生方と様々なお話ができたことは、勉強になることばかりでした。今回の研修を通して学んだことや経験できたことを私自身は勿論、生徒達にも活かしていけたらと思います。まずは中央工学校の軽井沢コンペに参加する1年生に軽井沢のことをしっかりと伝えようと思います。

・様々な建築物を見学させていただき、徐々に建築と自然を楽しむことができました。HPや雑誌が多くあり、情報がすぐに手に入るとしてしまう分、最近はこの2日間のように体を動かして、目で見るといことが少なくなっていることが、とても残念でした。また、昔のように足を運びたいと思っています。また、今回は生徒と一緒に参加でき、少しでも建築の楽しさが伝えられて、これをきっかけに建築の世界で頑張ってくれればと思っています。普段見られない目の輝きや表情を見ながら、私自身もとても満足しています。機会があれば若手の教員も参加させたいと思います。コンペについても、是非参加する人数を増やせるよう、カリキュラムや実習内容を考えていきたいと思っています。

・古くからの名建築と共に、クリークガーデンやハルニレテラスなど、新しい景観をつくる建築群を比較しながら見ることができて興味深かった。特に、これから建つ前の様子を知っているのが、更地に計画するとどうなるのか、実感を持って指導することができると思う。歩く速度と自転車に乗って見る速度では、気付くことも異なり楽しかった。大変に充実した研修会だった。他県の先生方と情報交換させていただいた事は貴重でした。来年は是非生徒を参加させたいと思う。



・今回初めて参加させていただいて、非常に充実した2日間を過ごすことができました。生徒にとって、生の建築を見ることで得る感動は良い経験になったと思います。この経験を活かして今後コンペに活かしていけたらと思います。次回も可能な限り参加できたらと思います。要望としては、スケッチ等実務的プログラムがもう少し多くあっても良いと思いました。



スケッチ（生徒作品）